

きょう子通信

2018年1月 No.46

常滑市議会議員 新風クラブ 井上 恭子

ご意見 〒479-0866 常滑市大野町6-56(大野町きょう屋内) |ご相談は | TEL/FAX:42-1307 | E-mail:kyo-ya@infoseek.jp



Facebookもチェック 📢 フェイスブック井上恭子(Kyoko Inoue)もご覧下さい。 🖒 いいね!

明けましておめでとうございます 夢を形にしょう!!

ストックホルムの議員の半数は女性

昨年、あいち国際交流はなのき会で福祉、子 育て、政治分野などの研修のために北欧を訪れ た。まずは国民の政治に関する意識は日本と比 ベダントツに高く、若者の選挙率は80%である。 国民は常に議員をチェックをし、不正や信頼を 損なうことをすれば失脚する。また、女性の参 画率が高く、ストックホルムの市議会議員の半 数は女性で、建築家、保母さん、介護士など専 門性の高い市民が議員になり常に国民と対話し、 透明性のある活動をしている。議員の仕事は4 時からなので仕事を持ちながら働ける環境であ る。国の政策によりこれほどまでに変ることを 目の当たりにし、今以上に市民とともに政治を 行うのが議員の責務であると決意を新たにした。 積極的な企画を市民とともに夢を形にしていき たい。

作ろう! 市庁舎を中心とした市街地

昨年、いよいよ市庁舎が高台に建て替えと決 定した。高台といえば飛香台か元常高跡地なの か?まだ決定されていない。病院近辺に市庁舎 を立てれば、両方の機能が人の集まりとなり、 災害時にはとても混乱をきたすのではないかと 思われる。

私は市の土地以外で市街化調整区域を開発し、 そこに市庁舎の建設をする。そこから新たな街 づくりをしていけば人口増加策にもなる。今年 そんな夢を形にできたらと考えている。



3月には行政が結論 を出すという。皆さ んも一緒に夢を形に していきませんか?

12月議会 きょう子の一般質問

学校生活を健全化させる 学校組織のオープン化 あなたは17kgの荷物を自転車で運べますか?

- 問 「茶色い地毛を強制的に黒色に染めさせる」「金銭負担による生活圧迫」など、学校が外部の目から遮断され、治外法権的な場所として慣習の中で物事が決められていく事例がある。今一度子どもの過ごしやすい学校生活を考えていただきたい。現在中学生の毎日持ち帰るカバンの重さが17kgにもなる。人身・物損事故が発生したら自転車保険に入っていても過失割合が大きくなる。どこが責任を取るのか。
- 答 個別具体な事例にもとづいて検証していく必要があるので課題にさせてください。
- 問 中学校入学に際して必要となるお金は約15万円にもなる。制服や自転車も高額である。重い鞄 での通学を含めて、これらのことを子どもや父母が言いやすい学校体制を求む。
- 答 公正取引委員会の制服の取引実態も参考にし、可能ならば下げていきたい。重い鞄に関しては 実態調査をして対策を取っていく。また子どもや父母にはアンケートを取り、自由に意見が言 える場を設けている。

サブ鞄 5.5 kg メイン鞄 1 1.5 kg





小学6年から中学校への進学に際して 必要となるお金

【内訳】

セーラー服¥33,0000×2(冬・夏)指定体操服等¥20,000通学自転車¥68,000部活動用品¥20,000

小学校修学旅行費用 ¥28,000

合計 約15万円以上



父母からの投稿

度を越した生徒指導ではないですか?

「11.5kgのメイン鞄の背負う肩紐が重すぎて切れてしまった子、自転車で側溝に落ちてけがをした子。学校に教科書等の荷物を置いて帰ることは厳禁で、毎日先生達がチェックしていて、置いて帰った場合、翌朝、荷物は教室の前に出されていて叱られる。度を越した生徒指導と判断せざるを得ません。大惨事になる前に、至急の対策を強く求めます。」

「母子家庭では子どもが中学入学時、高額な学生服や 自転車を買えません。子どもの内申点や他の父母に何 を言われるかわからないので相談をできません」

子どもたちへの市民サービス減少へ

40年後 2015年度比で面積が25%縮減



常滑市は県内類似団体と比較して公共施設の保有率が高く、今後20年間に施設の更新が集中し多額の費用が必要である。現在平成29年9月に発表された「常滑市公共施設アクションプラン」を基に、議会も特別委員会を設置し検討している。将来的に人口減少により、南北の小学校、保育園、中学校は一校づつとなる。学校のプールは全て廃止など、今の施設のいくつかは削減される。

	基準(2015)	前期 (10年後)	中期 (20年後)	後期 (40年後)
人口推計	57,830人(100)	59,240人(102)	56,854人 (98)	51, 144人 (88)
延床面積	213, 589m²	192, 230 m ²	181, 550 m ²	160, 192 m ²

知多半島5市4町で常滑市最下位!!

災害対策の意思決定の場に女性の参画を

問 東日本大震災では、被災地域の住民の尊重と女性、子ども、障がい者などを含めた多様な国民 の意見が反映されるべきという「東日本大震災復興基本法」が施行された。しかし本市におい ては、このような法律ができているにもかかわらず、女性の災害対策への 参画は皆無である。とりわけ、女性のリーダーは必要不可欠である。

参画は音無である。とりわり、女性のリーダーは必要へら 意思決定の場に女性の参画を求める。

答 避難所マニュアルも女性の視点をすでに盛り込んでいるが、 細かな部分は不十分なので順次整備していく。

女性の参画ゼロ

一避難所マニュアルー

- ①避難所の運営責任者に女性が入っているか
- ②女性専用物資の選定・量などに女性の意見が生かされているか。
- ③女性専用物資の配給担当は女性になっているか。
- ④盗難や性犯罪などの防止策はとられているか
- ⑤プライバシーに配慮しているか (間仕切り等)
- ⑥男女別トイレが用意されているか。
- ⑦男女別更衣室が用意されているか。
- ⑧授乳室は角意されているか。
- ⑨乳幼児・子どもスペースは考えられているか。
- ⑩高齢者・病人・障がい者が対応できる避難所か

平成29年4月に行われた、地域開発みちの会アンケートより

一般質問を聞いた市民の声(男性)

常滑市がこの条件を満たしていないのは、市会議員に紳士がいないから自分側しか見えていない、見ようとはいからではないか。もっと女性議員を増やした方が手っ取り早いかも。その上に立ってから主義主張の議論を展開してほしい。世の中は男だけではない。常滑市議会にはいまだに男尊女卑の風潮が残っているとしか思えない。

弱者や女性に受け入れられる施設であれば、男性にとっても問題ないはず。 そんなことも理解できないようではい ざというとき大恥をかく。議員は全て ジェントルマンであってほしいと願う。

不正・法令違反を防止するための制度を求める 公益通報 (内部告発) 制度を求む。



引 財政問題や契約問題に関し、市にとって不利益だと思ってもなかなか内部から指摘ができない。 また外部から指摘されても、その問題が明るみに出て是正されていないのが実態である。職務 の執行に関する不正・法令違反が生ずる恐れに関する公益通報(内部告発)及び外部通報を広く受け付け、不正や法令違反等を未然に防止する条例の制定を求む。

答 市の職員懲戒処分の基準に内部通報がある。十分それで満たしているので、条例は必要ない。

常滑市の公益通報(内部告発)および外部通報に関して質問書を出し、回答がありました。

1 通報を受ける窓口はどこか。

公益通報について、市民等による外部通報は総務課、職員による内部通報は職員課が窓口となります。

2 窓口を職員や外部にどの様に公開しているのか。 特に公開しておりません。

なお、職員による内部通報については、職員課に申し出るよう周知しています。 3 寄せられた情報の調査手順はどの様に定められているのか。

要綱等で手順はさだめておりませんが、通報を受けた課が主体となって、 寄せられた情報を元に、事実関係等を調査し、法令等の趣旨にそって 対応することとしております。

- 4 公益通報者・外部通報者の不利益防止策はどの様になっているのか。 本市の「懲戒処分の基準」に基づき、対応することとしております。
- 本市の「窓戒処分の基準」に基づざ、対応することとしておりる **5 匿名性の確保はどの様にしているのか。**

<u> 秘密保持及び個人情報の保護に留意して、対応することとしております。</u>

6 弁護士は関与しているのか。

必要に応じて顧問弁護士に相談等を行うこととしております。

7 不祥事の公表 (義務) はどの様になっているのか。

本市の「懲戒処分の基準」に基づき、対応することとしております。

平成30年1月4日 常滑市長 片岡憲彦 回答

きょう子コメント

常滑市からの回答により、通報 窓口は非公開、調査手順は定め てない、告発者の保護も未対応、 であることが判明した。

内閣府からは、法令遵守を機能 させるための仕組みを整備、通 報窓口や相談窓口などの内部規 定作り、違法行為など不正の発 見がより容易になるように、積 極的に求められている。

隠蔽や事なかれ主義ではなく開かれた行政組織に生まれ変わってもらいたい。



講演会

市民が政治を変える

平成30年1月28日(日)

14:00~16:00

常滑市中央公民館 視聴覚室 講師 内科医師 浅野麻里奈 氏(37歳)

市立半田病院の建設予定地を大規模災害でも安 全な高台にするために半田市長選に臨み、高台移 転を求め住民投票の条例制定を請求をするなど、 市民の命を守るために精力的に活動を続け、つい に行政を動かした



Cafede情談換



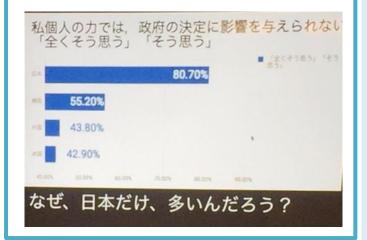
常滑の20年後を見てみよう!

2月23日(金) 19時~中央公民館 2月25日(日) 19時~大野町きょう屋

平成30年度の予算書を見ながら、皆 さんの20年後を考えてみましょう!

政治に参加したら何か変わるの②

12月8日の選挙に関する講演会を全国各地で繰 り広げている座間宮ガレイ氏の講演を聞いた。下 記の表のように、日本人は政治の決定に自分は影 響を与えられないと思う人80.7%である。これは 思いこまされているのではなく、有権者が求めて いないのである。自分の選択で政治が変えられる という意識の高い国は投票率も高い。軽い気持ち で政治に参加できるという実感、意見を言ってよ いのだという気持ち、自信を広げることが重要で ある。若者が政治に意識を持ってもらう活動を広 げていきたい。



明るい社会づくり運動知多地区推進協議会 発足40周年記念家庭教育講演会

子どもも親も ほっとできる子育て

2018年 2月4日(日)

14:00~15:30 アイプラザ半田



近藤直子氏 講師

京都大学教育学部教育心理学科卒 教育心理学者,元日本福祉大学副学長

明るい社会づくり運動知多地区推進協議会は今 年度発足40周年を迎えました。主な活動は作文 コンクール、家庭教育講座、各地域では芋ほり、 植樹、掃除などを行い、地域の皆様に喜んでいた だき、絆を作り、まちが明るくなる運動を行って います。

私たちの活動を知っていただき、次世代にこの 活動を継承していくために、近藤直子さんをお招 きして子育てをみんなで考える機会を設けました。 ご参加をお待ちしています。



3月議会のお知らせ

3月2日(金)~23日(金)

代表質問 5日(月) 一般質問 5日(月)・7日(水)

予算委員会(一般)15日(木)予備日16日 (特別・企業)19日(月)予備日20日午後

駅頭報告 午前7時00分~8時00分

1月22日(月)大野町駅

23日(火)榎戸駅

24日 (水) 常滑駅



※きょう子通信のポスティングのお手伝い求む



一般質問を動画でどうぞ 常滑市役所HP→市議会→本会議録画映像